

麻酔器への供給酸素濃度を調整できるモデル

MA-17 型



- 01 麻酔時の酸素濃度を約 25% から 90% の範囲で任意に調節することができます。
- 02 麻酔器との接続使用に加えて H-16 型と同様に酸素ケージや ICU への濃縮酸素の供給源としてもご使用いただけます。

麻酔中の酸素濃度を変える理由

人工呼吸器からの離脱時や長時間の手術の際は、60～30%と低濃度での酸素供給が推奨されている。

ブロー流量計 (0～30L / 分)

ツマミを開くと供給酸素濃度を下げることができます。
供給ガス流量は麻酔器本体の流量計を操作して設定ください。

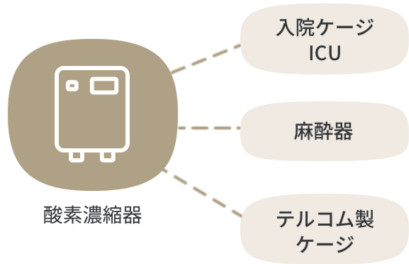
麻酔器の流量を毎分 2L に保ったまま ブロー流量を変えた時の酸素濃度の値

供給ガス流量 (麻酔器の流量設定値)	ブロー流量	酸素濃度
2L / 分	0L / 分	87%
	5L / 分	62%
	10L / 分	43%
	15L / 分	35%
	20L / 分	28%

※この表は供給流量を 2 L / 分に下げた時の酸素濃度が 87% の濃縮器で、ブロー流量計の設定に対する酸素濃度の実測値を示しています。そのため、濃縮器の生成能力の差異によって数値が異なる場合があります。

※ブロー流量と酸素濃度との関連は酸素濃縮器の性能にも左右され個体差があり、正確なものではありません。個々の酸素濃縮器で把握していただく必要があります。

※ブロー流量計の流量はダイヤルを回してから 2～3 分程で酸素濃度が安定します。



イメージ

寸法	W480×D320×H490 (mm) ブロー流量計 + 支持ポール 500～1000 (mm)
重量	25kg
電源	AC100V/320W (50Hz) AC100V/360W (60Hz)
付属品	接続する麻酔器に合わせて、麻酔器接続直結ホース (AIR か笑気) または、麻酔器接続専用流量計のいずれかが付属します。